

=====

2023年04月18日

『語用論研究(S/P)第25号(2023)』への投稿と締め切りについて、以下のようにお知らせいたします。ふるって投稿くださいますよう、お願い申し上げます。3月末には紙媒体で投稿期限を5月末とご案内しましたが、オンライン化に伴い出版までの期間が短縮できることから、改めて6月末とさせていただきます。

1. 投稿期限:2023年6月30日(金)23:59 JST

2. 剽窃、二重投稿、不適切な自己引用、サラム論文などは禁止しますので、ご注意ください。なお、以下の学会サイトの語用論研究・投稿規定・スタイルシートをよくお読みの上、ご投稿ください。

[https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution\\_rule.html](https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution_rule.html)

3. 特に、特集論文などの募集は行いません。語用論のどの分野でも結構です。ただし、語用論に関する、独自性、新規性の高い論文を募集しております。なお、本学会では、提出する前に、指導の先生、ご学友などに、なるべく一度見てもらうことをお勧めしています。

4. 『語用論研究(S/P)第25号』(2023)の投稿は、ウェブシステムの投稿ページから行ってください。

<https://www.pragmatics.gr.jp/>

投稿するためには、2023年度の会費納入が必要となります。ただし、現在までの連続して会員である期間において、当年度を含め会費未納の年度がないことが必要です。(未納の年度を飛ばして今年度会費を先に納めることはできません。)過去に会費未納がある場合は、合わせてお払いただきますようお願いいたします。(一度退会して再入会した場合の、会員でなかった期間については問いません。)

5. フォームに「個人情報」を記入して「原稿ファイル」を提出してください。

6. ファイルを送付した後、2週間経っても、原稿が到着した旨の確認返信メールがない場合は、事務局宛にご連絡ください。

-----

これまでの号は、冊子でお送りした号に加え、刊行後2年経過した号より、学会サイト

で公開しております。この4月より、S/P22(2020)の第22号を公開しました。是非ご覧下さい。

<https://pragmatics.gr.jp/journal/backnumbers/22.html>

なお、先日お送りしたS/P24(2022)(さらに過去の号)は、以下の開拓社のサイトからご購入いただけます。

<http://www.kaitakusha.co.jp/search/search.php?s=020404>

よろしくお願いいたします。

-----

日本語用論学会 『語用論研究(S/P)』編集委員会